|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年2月7日（金） | 資料4 |
| 令和元年度第1回権利擁護部会 | |

**板橋区における障がい者虐待の通報等受付状況**

１　受付場所別の内訳

※（　）は、総件数から同一障がい者に係る通報等の重複分を除いた実件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付場所 | 30年度 | 元年度(1月末まで) |
| 虐待防止センター | １８（１７） | １６（１６） |
| 福祉事務所（３ヶ所） | ６（４） | ８（８） |
| 健康福祉センター（５ヶ所） | １（１） | ３（３） |
| 障がい者福祉課 | ８（８） | １３（１３） |
| 予防対策課 | ０（０） | ０（０） |
| その他（警察等） | ３（３） | ２（２） |
| 合　計 | ３６（３３） | ４２（４２） |

２　相談・通報・届出者の内訳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談・通報・届出者 | 30年度 | 元年度(1月末まで) |
| 障がい者本人 | ７ | １３ |
| 家族・親族 | ６ | ４ |
| 近隣住民・知人 | ３ | ３ |
| 福祉サービス関係者 | １１ | １２ |
| 医療関係者 | ２ | ０ |
| 行政・教育機関 | ３ | ９ |
| その他・不明等 | １ | １ |
| 合　計 | ３３ | ４２ |

３　被虐待者の障がい別内訳

※ 通報時本人より申告のあった種別（重複障がいは、それぞれに計上）

※ R1は1月末時点までの件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 障がい | 身体 | | 知的 | | 精神(発達含) | | 不明 | |
| 年度 | Ｈ30 | R1 | Ｈ30 | R1 | Ｈ30 | R1 | Ｈ30 | R1 |
| 人数 | ２ | １０ | ２３ | ２５ | ７ | １１ | ２ | ３ |

４　虐待者の内訳

※（　）は、総件数から同一障がい者に係る通報等の重複分を除いた実件数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 虐待者 | 30年度 | | 元年度(1月末まで) | |
| 総件数  （実件数） | 虐待認定  件数 | 総件数  （実件数） | 虐待認定  件数 |
| 養護者 | １９（１７） | ２ | ２３（２３） | ４ |
| 障害者福祉  施設従事者等 | １５（１５） | ２ | １６（１６） | ３ |
| 使用者 | ２（１） | １ | ３（３） | ０ |
| 合　計 | ３６（３３） | ５ | ４２（４２） | ７ |

５　全国の件数（平成29年度「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果報告書より引用）

　　【 相談・通報対応件数及び虐待の事実が認められた事例件数 】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 養護者 | 障害者福祉  従事者等施設 | 使用者 |
| 相談・通報 | 4,649 | 2,374 | 691 |
| 虐待の事実が  認められた事例 | 1,557 | 464 | 未掲載 |

　　【 虐待の発生要因等 】

○ 養護者（複数回答有り）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 人数 |
| 虐待者の介護疲れ | 318 |
| 虐待者の知識や情報の不足 | 436 |
| 虐待者の飲酒やギャンブル等への依存の影響 | 137 |
| 虐待者の介護等に関する強い不安や悩み・介護ストレス | 289 |
| 虐待者が過去に虐待を行ったことがある | 130 |
| 虐待者が虐待と認識していない | 712 |
| 虐待者の障がい、精神疾患や強い抑うつ状態 | 238 |
| 虐待者側のその他の要因 | 206 |
| 合計 | 2,466 |

　　　 ○ 障害者福祉施設従事者等（複数回答有り）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 人数 |
| 教育・知識・介護技術等に関する問題 | 262 |
| 職員のストレスや感情コントロールの問題 | 207 |
| 倫理観や理念の欠如 | 235 |
| 虐待を助長する組織風土や職員間の関係性の悪さ | 84 |
| 人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ | 86 |
| 合計 | 874 |

６　虐待の事実が認められた事案（令和元年度）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| NO | 種別 | | 被虐待者の年代 | 主な虐待内容 | 状況・対応等 |
| １ | 養護者 | 身体的虐待 | 20代 | 障がい者の兄に対して、同居している弟が火傷を負わせた。 | 緊急保護として、兄を短期入所施設へ入所させた。また、弟の精神状態が不安定であったため、メンタルクリニックの受診を案内した。 |
| ２ | 養護者 | 身体的虐待 | 30代 | 障がい者の娘に対して、同居している母が暴力をふるった。 | 娘の世話に伴う養護者への負担が過重と判断したため、レスパイトをさせるべく短期入所等のサービスを案内、利用してもらっている。 |
| ３ | 養護者 | 身体的虐待 | 20代 | 単身の障がい者の方が、知人宅にて生活していたが、知人に暴力をふるわれていた。 | 緊急保護として、他県在住の家族に保護してもらった。 |
| ４ | 養護者 | 身体的虐待 | 20代 | 障がい者の姉に対して、同居している弟が暴力をふるった。 | 緊急保護として、姉を短期入所施設へ入所させた。家庭環境が原因の可能性があるため、生活の相談ができる場所を案内した。 |
| ５ | 障害者福祉施設従事者等 | 身体的虐待 | 10代 | 日中活動行う事業所において、精神的に不安定になり暴れていた利用者に対して、支援員が手足をガムテープで固定した。 | 事業所に再発防止策を記載した改善報告書の提出を求めた。 |
| ６ | 障害者福祉施設従事者等 | 性的虐待 | 20代 | 日中活動行う事業所において、支援員が利用者の身体に触れた。 | 事業所に再発防止策を記載した改善報告書の提出を求めた。 |
| ７ | 障害者福祉施設従事者等 | 心理的虐待 | 40代 | 療養介護事業所にて入所している利用者に対して、担当看護師が不満をぶつける発言をした。 | 事業所側の対応として、当該看護師に指導を行ったほか、利用者の担当看護師を変えた。 |